

# 大学自己評価部会だより

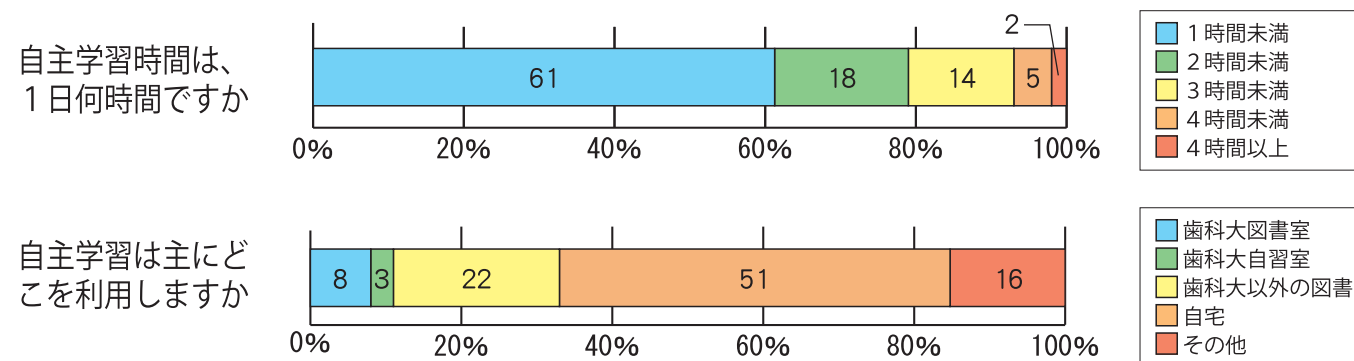
第5号 (平成20年5月)

## アンケート調査結果を報告します

平成19年4月に、学部学生2～6年生と大学院生および研修医の方々を対象にアンケート調査を行いました。今回は、学部学生のサークル活動やアルバイトなど生活実態に関する結果を報告致します。

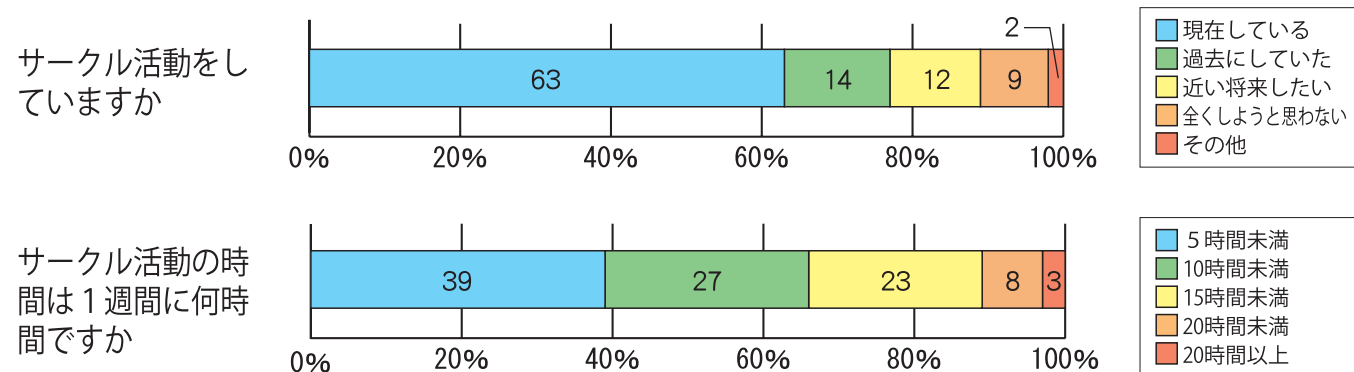
### 1) 自主学習の時間と場所

自主学習時間は61%が1日に1時間未満で、約半数が主として自宅で学習しています。歯科大学の図書館などの利用はわずか11%でした。



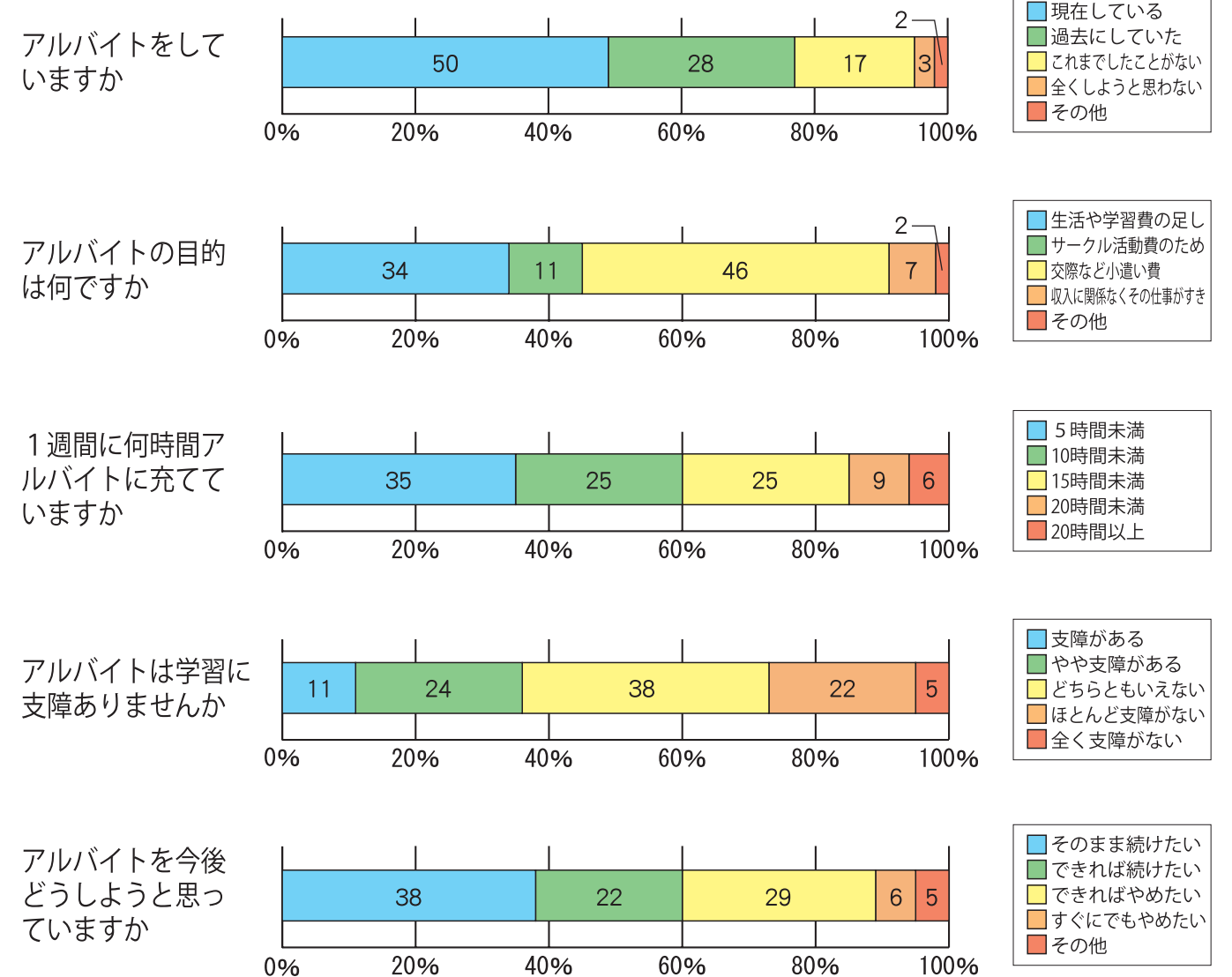
### 2) サークルおよび部活動の状況

現在、63%の人が何らかのサークルや部に所属し、非常に盛んです。活動時間は1週間に5時間未満が最も多いのですが(39%)、20時間以上の人も3%いました。



### 3) アルバイトと学習の両立

半数がアルバイトをしていて、過去にしていた人まで含めると78%でした。その目的は「交際など小遣い費」が最も多く、続いて「生活や学習費の足し」でした。しかし、現在アルバイトをしている人の中で、それが学習の支障になると思っている人は36%いて、35%が「やめたい」と考えています。



### 4) 大学は、生活面での学生のニーズを把握していると思いますか

大学は学生の生活面でのニーズを把握していると「思う」と答えたのが21%で、「思わない」と答えた24%と拮抗していました。

